

「CSR経営認証(ソーシャルステージ)」取得第1号

*敬称略

「環境経営」の実践による人材育成と「ソーシャルビジネス」の展開

株式会社弘久社(代表取締役社長 平野 芳久、東京都立川市 <http://www.kokyusha.com>)は、2013年5月30日、エコステージ協会の新しい認証システム「CSR経営認証(ソーシャルステージ)」を全国でいち早く取得しました。

同社は、社員30名強の印刷・複写会社ですが、品質(ISO9001)、情報(ISO27001)、環境(エコステージ)の各認証を取得しています。

エコステージ取得(2005年4月)の際は、環境は誰にでも、また職場や家庭、地域社会とどこでも必須という考えで、若手社員、パートタイマーが環境管理委員となり、全社活動を行いました。これにより、若手が自ら会社の歴史(沿革にのるべき活動)を築き、仕事上でも、「わき役から名脇役、主役」になるなど人材育成の面、企業体質改善の面でも大きな成果をあげました。そして現在の主な活動は、

<環境的責任活動>

- ①デマンドコントローラの導入などで、徹底的な「節電・省エネ」
- ②オンデマンド印刷の受注を増やすことで、顧客サイドでの印刷物廃棄の削減
- ③作業効率化、見直し(3ムの撲滅)による残業時間の削減(現在、毎週月・水・金曜日は、完全ノー残業デー)

<社会的責任活動>

- ①「とっておきのワンシーン」「しあわせの種」など心温まる冊子の発行を、当初、NPO活動としてスタートしていたが、NPO法人は解散し、「ソーシャル・ビジネス開発部」として原点回帰し、ビジネス化
- ②ボランティア団体、企業、行政などから、CSR関連活動の企画策定やプロモーション戦略の立案、プロモーショングッズの制作など多岐にわたる商談があり、ビジネスとして成立

これら、印刷という「本業」と「環境的責任」「社会的責任」の両立を実現しているのは、平野社長の言葉「21世紀を力強く生き抜く企業は、自社の経営資源を最大限に使い、本業と社会貢献を両立すべきだ。私たち日本人には、いや、中小企業にはそれを成し遂げる力がある。私たちは、それを見事に実証したい。」に表されていると考えます。

また、この企業独自の資源や専門性を活用し、社会的価値を創出することで経済的価値を生み出すこと。これこそ「CSRからCSV」と最近話題になっているCSV(Creating Shared Value:共有価値の創造)そのものと言えます。

担当評価員:エコステージ協会 上級評価員

株式会社KAZコンサルティング 鈴木 和男

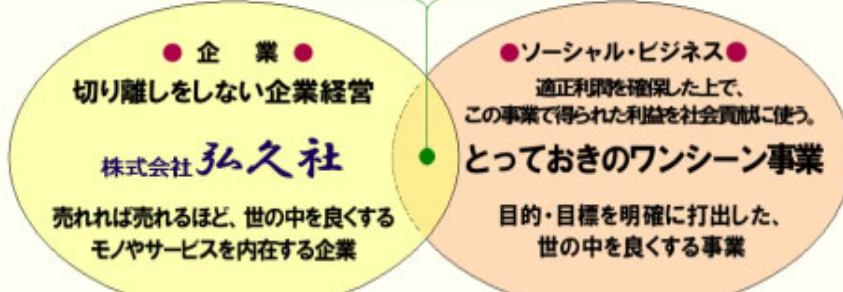
<ソーシャルビジネス事例>

企業経営とソーシャルビジネスのコンセプト

「ソーシャル・ビジネス開発部」の活動コンセプト

企業らしさを反映させた息の永い活動

ソーシャル・ビジネス「とっておきのワンシーン」の実践を通じて
全国の児童養護施設に暮らす子供たちを支援する。
そして、CSRの観点から経営資源を有効活用しようとする企業と連携する。



企業らしさを反映した「商売繁盛＝素晴らしい世の中になっていく証」を
内在する21世紀型企業モデル

KOKYUSHA



幸せを運ぶ画集「とっておきのワンシーン」



Good Luck

ハイフリッドカード「香奏でるカード」

毎月5話1年間に60話無料配信
とっておきのワンシーン
心温まる小さな愛の実話(絵本)

社のカード屋さん/フィッシングショップ「ヘミングウェイ」

「とっておきのワンシーン」はご覧いただけます。COCOAアプリでQRを読み取って下さい。「COCOA」アプリは、AppStoreで「ココア」と検索して下さい。

しあわせの種まき活動「しあわせの種」

TACHIKAWA
しあわせの種
「しあわせの種」シリーズ
第1巻 夢に目付を!

「しあわせの種」シリーズ4巻
第4巻 夢に目付を!

「しあわせの種」シリーズ4巻
第4巻 夢に目付を!

プラス10円の思いやり「ちょいボラ」自販機

